



# 登山だより

## ■十月行事日程

一日～七日

聖天秘供(聖天堂)

二日、十四日、二十六日

弁天様御縁日

三日、三十一日

御詠歌勉強会(十時山麓不動院)

八日

仏舍利詣り(仏舍利塔)

十日～十一日

信徒峰中修行会

十七日

高尾山秋季大祭

お練り供養

大護摩供法要(大本堂)

柴燈大護摩供(有喜苑)

二十二日

月例写経会(十三時山麓不動院)

二十五日

御詠歌入門(十時山麓不動院)

二十八日

奥之院開扉供養(十時奥之院)

三十日

高尾山とんとんむかし

「語り部の会」

(十二時半山麓不動院)

三十一日

滝じまい

二十一日

飯縄様御縁日

神徳報謝百味飲食供

(九時大本堂)

高尾山御本尊飯縄大権

現様の日々の御加護に感謝し、沢山の御供物を捧げて御供養申し上げる法要です。

ご希望の方は本堂までお申し付けください。

御志納金 一口三千元

## 毎日の お護摩奉修時間

(4月15日～10月31日まで)

午前 5時30分

〃 9時30分

〃 11時00分

午後 0時30分

〃 2時00分

〃 3時30分

ご講中・団体等御相談  
下さい。

## 高尾山

(お詫び)

先月号の写真が間違っており、  
写真を訂正して再度掲載致します。

# 四季の草花

101

オミナエシ

女郎花

オミナエシ科・オミナエシ属

秋の七草の一つで、古来より親しまれている花です。いつの頃から「女郎花」の漢字が宛てられたのかは不明ですが、「古今和歌集」に「女郎花」と書いて「おみなへし」と読ませていたとあります。



語源は諸説ありますが、「おみなへ」とは「女」の意で、「えし」は古語で「押し」の意で、美女を压倒する花だとして、「おみなへし」の言葉が転訛して「オミナエシ」の言葉になっています。

又、「おこわ」を男飯と呼んだのに対し、黄色い「栗飯」を女飯と呼び、花の様子が「栗飯」に似ていたことから言葉が出来たとの説もあります。「オミナエシ」に対して「オトコエシ」と呼ばれる白い花があります。

日当たりの良い山野の草地に生え、花は茎の先に多数の黄色い花を散房状に付けます。葉は対生し、羽状に深く切れ込んでいます。

(撮影・文 中村 毅人)

## 訂正のお知らせ

先月号五ページ「山の祈り自然の響き」記事の五段目九行目にあります「即ち実修実証」の振り仮名を、「即ち実修実証」と訂正させて頂きます。茲に謹んでお詫び申し上げます。



## 高尾山報助成金

御志納のお願い  
当山では、大護摩修行や星祭り等により御縁を結ばれた御信徒様に高尾山報を送っております。引き続きご愛読されますよう、皆様方の助成金御志納をお願い申し上げます。

高尾山薬王院ホームページ  
<http://www.takaosan.or.jp>

発行所  
東京都八王子市高尾町2177  
大本山  
高尾山薬王院  
郵便番号 193-8686  
電話(042)-661-1115(代)  
FAX(042)-664-1199  
発行人 菅谷 秀文  
編集人 渋谷 秀芳  
印刷 ヒラツカ印刷社  
毎月1回1日発行  
1部50円